

豊岡市出石町 弘道コミュニティ協議会 地域づくり計画



平成27年(2015年)11月策定
令和5年(2023年)4月改定

弘道コミュニティ協議会

『弘道コミュニティ協議会地域づくり計画』の改定にあたって

弘道コミュニティ協議会では平成27年11月に協議会設立時に「弘道地区コミュニティ地域づくり計画」を策定し、新しい地域コミュニティの下で、時代に相応しい新しい地域づくりを確実に進めてきました。

今回の策定では、それらの歩みを今一度検証しつつ、よりよい弘道コミュニティ協議会を目指して、5回のワークショップ及び住民アンケートを実施し、その成果として「弘道コミュニティ協議会地域づくり計画」の改定を、今ここにまとめることができました。

第1章基本的な事項

1. 弘道コミュニティ協議会 地域づくり計画改定の背景と目的

弘道コミュニティ協議会では、平成27年11月に策定した地域づくり計画に基づき、住民ならびに弘道コミュニティ協議会が主体となって自分たちの生活圏である身近な地域課題を解決しつつ地区住民のニーズに応じたきめ細かなふるさとづくりを推進してきました。

しかし、令和2(2020)年の初春に我が国を襲った新型コロナウイルス感染症の拡大等の新たな社会問題が、この地域にも影響を与えており、今までのような方法ではふるさとづくりを推進できなくなってきました。

また、現在弘道コミュニティが行っている取り組みが住民のニーズとマッチしているか、という課題も活動している中で出てきました。

このような地区の状況を踏まえ、元気で弘道コミュニティらしい地域づくりの歩みを止めることなく、さらに前進させるため、地域づくり計画の見直しに着手し、改訂作業を進めてまいりました。

2. 弘道コミュニティ協議会 地域づくり計画改定の手順 (ワークショップ・アンケートの実施)

弘道コミュニティ協議会 地域づくり計画改定にあたっては、弘道地区区長会、各部会員を中心とした6回のワークショップ(毎回50名程度の参加者)及び住民アンケート実施における住民参加を得ながら実施しました。

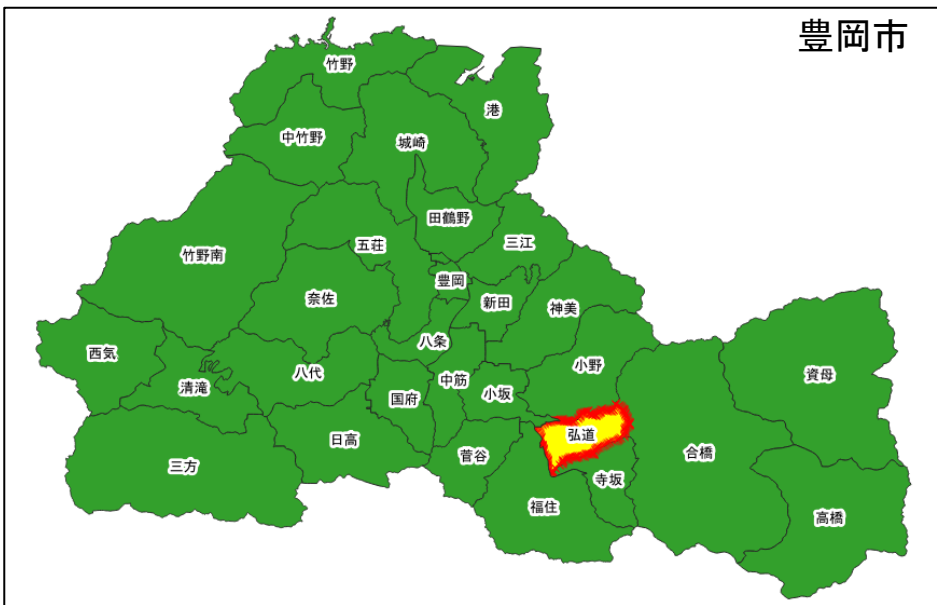
第1回 2020年10月22日(木) 19時～21時	この5年間の取組み、日々の取組みの検証と、地域づくり計画の目的の共有 『何のためのコミュニティ活動か??』 【評価点検と、今後の進め方、検討作業の確認】
第2回 2020年12月17日(木) 19時～21時	課題を解決する取組内容、取り組み方法の検討 【これまでの取り組みを、みんなのためにリニューアルする】
第3回 2021年11月24日(水) 19時～21時	アンケート結果の確認と既存事業の見直し 【これまでの取り組みのまとめ】
第4回 2022年6月27日(月) 19時30分～21時	新たな活動プログラム、事業計画の検討 アンケート結果を基に課題を資源を抽出する 【地域づくり計画に追加する、新たなまちづくり活動の企画】
第5回 2022年7月27日(水) 19時30分～21時	資源を活用した取組みアイデア、課題を解決する取組みアイデアの検討 【地域づくり計画に追加する、新たなまちづくり活動の企画】
第6回 2022年11月21日(月) 19時30分～21時	既存事業と合わせて実施アイデアの検討 【地域づくり計画に追加する、新たなまちづくり活動の企画】

第2章弘道地区の現状と問題点・課題・資源

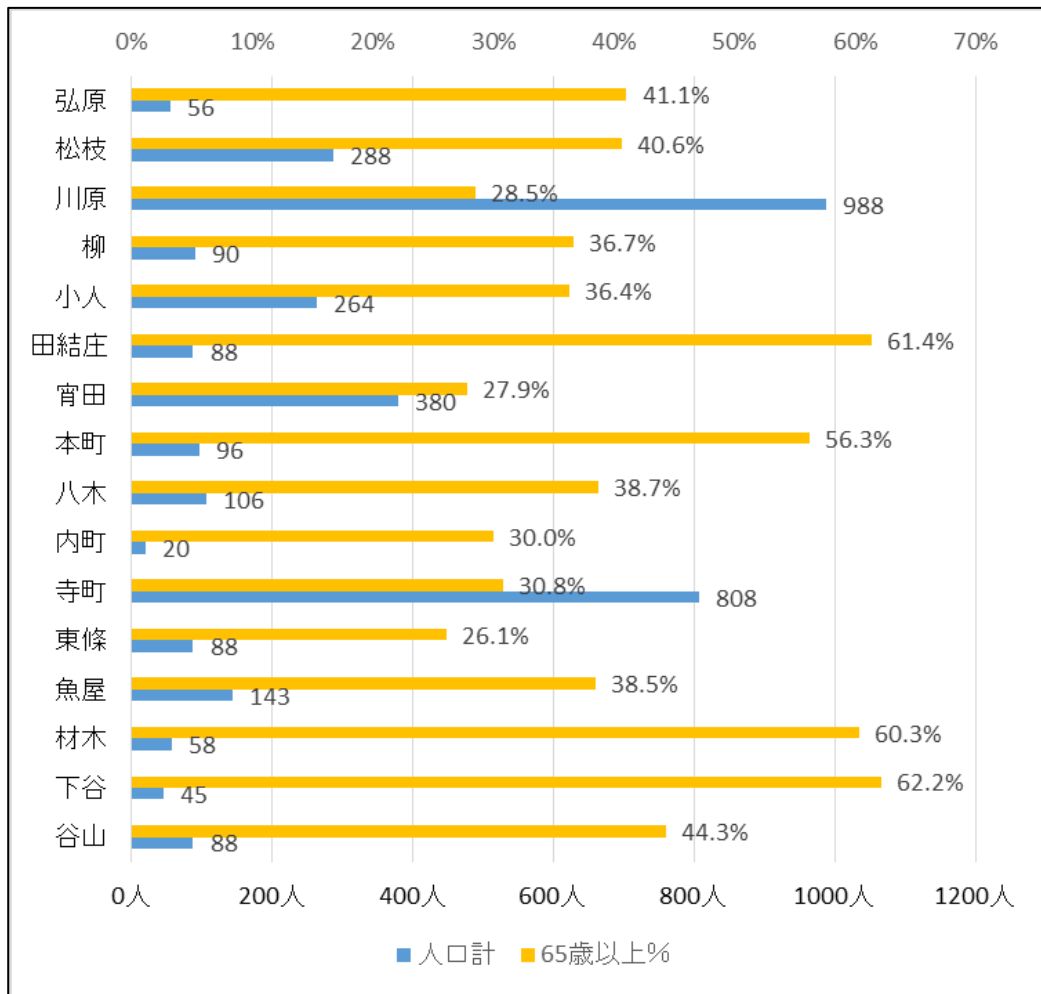
1. 地域の概況とこれまでの取り組み

- ・豊岡市の南東部、出石町の中心に位置する、他の地域と比べると市街地がほとんどを占める地域であり、出石城下の街並みと皿そばは、京阪神間でも指折りの観光スポットとしての地位を固めるのに一役買っています。一方で、少し郊外には田んぼや里山といった農村風景も残す地域特性を持っています。
- ・現在は地域内に16集落が存在しています。市街地部を抱える特性上、大きな人口減少は見られませんが、一部の集落では人口減少、少子高齢化が進み、将来的な集落の維持が懸念されています。
- ・国道426号が地区の南部を通り、舞鶴自動車道福知山I.C.、国道9号経由で神戸から約2時間、北近畿豊岡自動車道八鹿I.C.経由でも同様の距離にあります。
- ・出石城跡、有子山城跡、伝統的建造物群保存地区指定の町家群、永楽館、40店以上とも言われる皿そば店といった観光、レクリエーション施設には事欠かず、類い希な地域資源が数多くあります。
- ・森林の荒廃や耕作放棄地の問題、多発するイノシシ、シカ等の獣害に悩んでいます。
- ・弘道小学校、出石中学校、出石高等学校、出石幼稚園、保育園があり、文教施設は充実しています。
- ・観光産業が主たる産業となっていますが、これに頼るだけでなく、地域の自立に向けた新たな産業の掘り起こしが課題とも言えます。

弘道地区の位置図



弘道地区の人口及び高齢化率



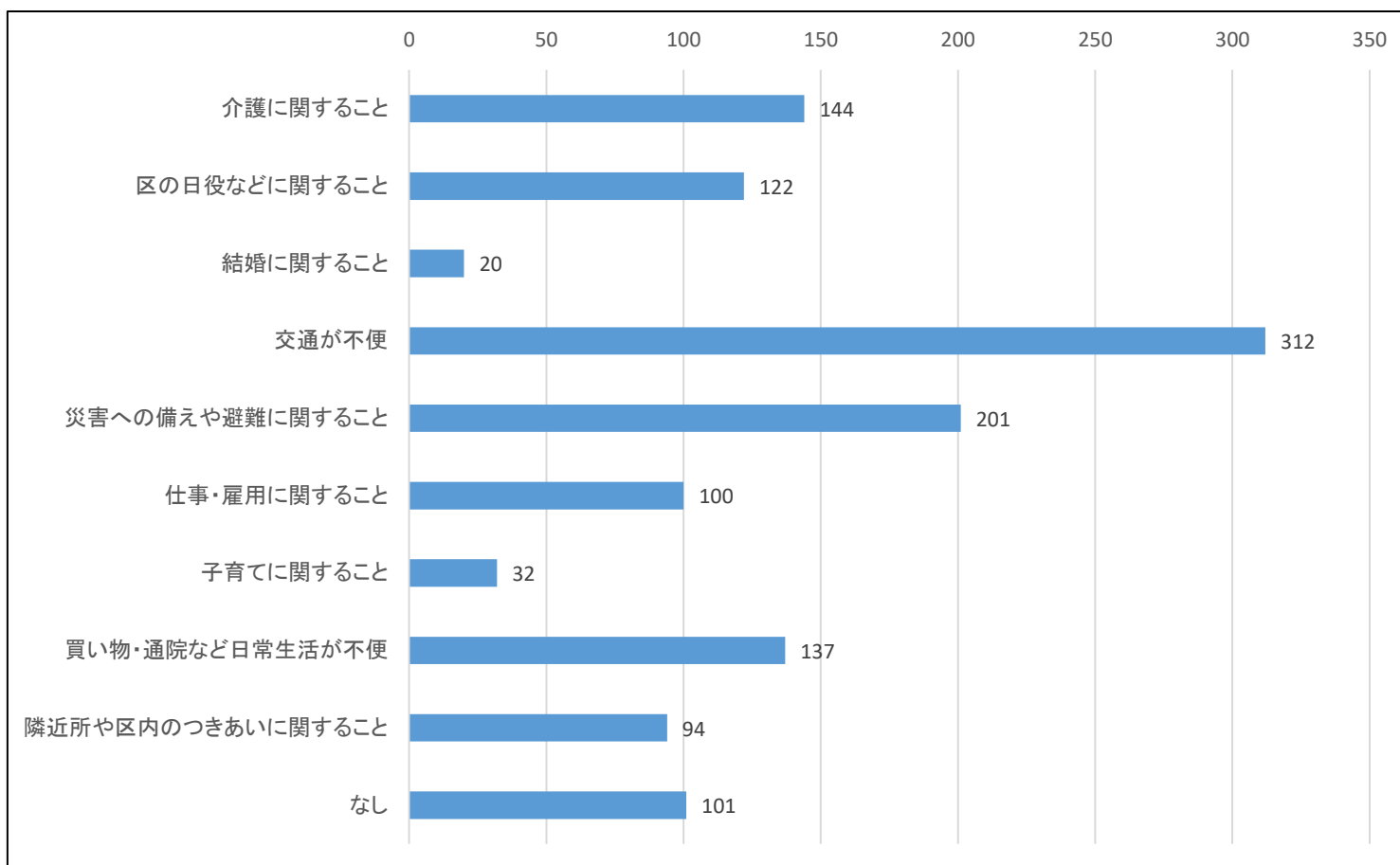
※豊岡市オープンデータ

2023年2月28日現在の住民基本台帳より

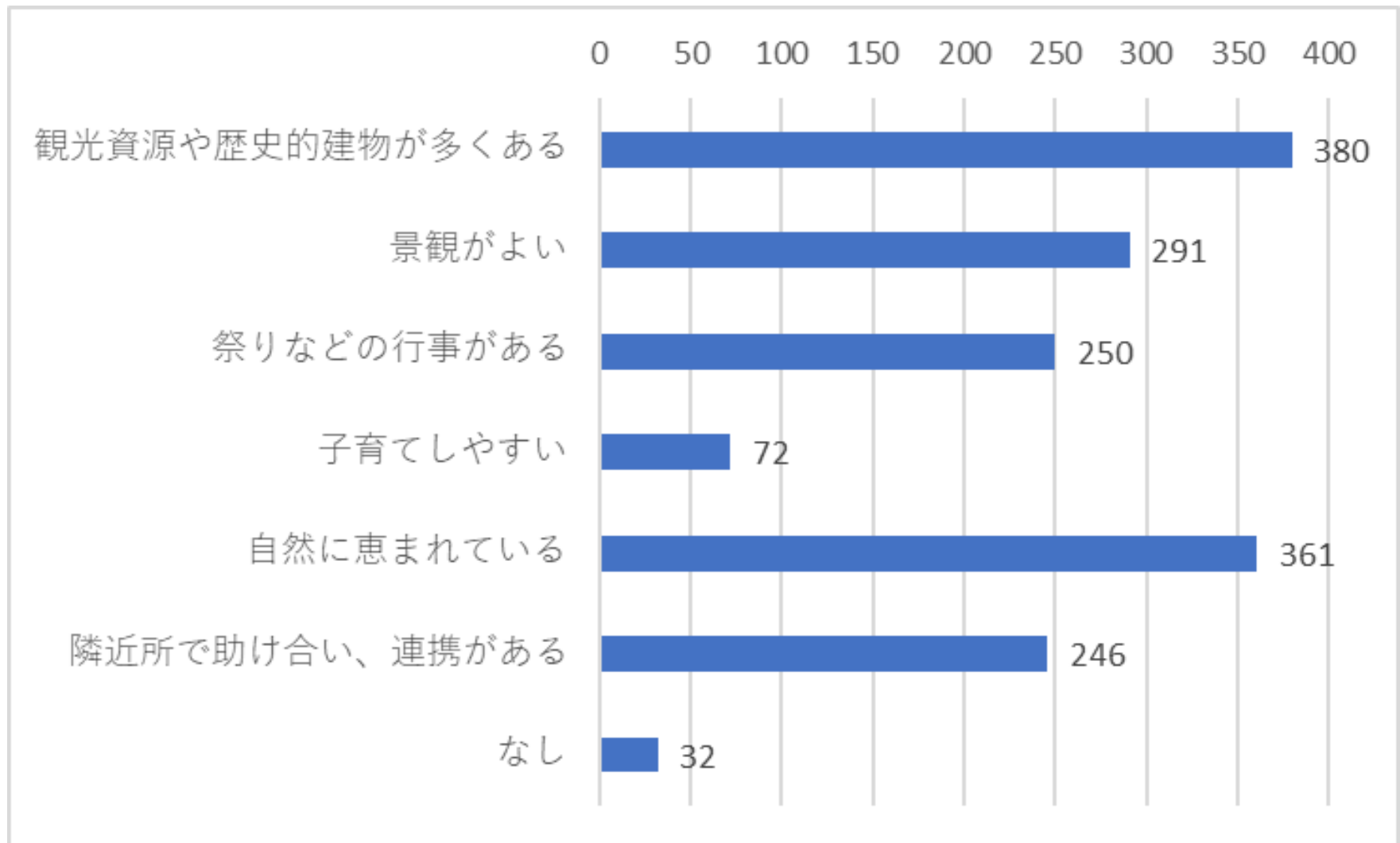
2. 弘道地区における問題点・課題・資源

・弘道コミュニティ協議会では2020年12月25日～1月25日の1か月間アンケートを実施しました。その中で、地域のみなさんが考えられている主な問題点・課題・資源(愛着・誇り)は以下のとおりとなりました。

問題点・課題



資源(愛着・誇り)



地域のみなさんの声、および、地域の状況・これまでの取り組み経過などから以下のことに取り組む必要があると考えられます。

- ①少子・高齢化社会への対応
- ②地域住民のふれあい、支え合いの意識の醸成と取り組みの促進
- ③地域への愛着、ふるさとへの誇りの育み（弘道館精神）
- ④美しく安全で安心して暮らせる生活環境の維持、充実
- ⑤地域産業のてこ入れ
- ⑥地域づくり活動の財源確保と実行体制の早期確立
- ⑦地域づくりに対する住民の関心と参加意欲の向上

これらを踏まえ、課題解決・資源活用に向けた取り組みをさらに加速させていく必要があります。

第3章弘道地区の将来像

弘道地区では、活動の軸となる6つの視点「①自然環境」「②歴史・文化環境」「③生活環境」「④生業・地域振興」「⑤教育・福祉環境」「⑥人づくり・コミュニティづくり」毎にめざすべき方向性を掲げ、これからの地域の将来像としてとりまとめました。

弘道地区では今後、この将来像を実現するために、コミュニティが一丸となって様々な取り組みを展開していくこととします。

【弘道コミュニティ協議会が目標とする将来像】

私たちが暮らす“弘道コミュニティ協議会”では、

①自然環境

・谷山川の清流、有子山の緑、四季折々の豊かな自然、美しい空気と水に恵まれた、彩りのある弘道

②歴史・文化環境

・出石城下の高い歴史性と弘道館精神に代表される文化性に育まれた、美しく趣のある弘道

③生活環境

・水害や火災等の災害に強く、子どもからお年寄りまで楽しく安心して暮らせる弘道

④生業・地域振興

・歴史的街並み、永楽館等の貴重で多様な地域資産を上手く活用し、賑わい活気(ビジネス)あふれる弘道

⑤教育・福祉環境

・充実した学びやふれあいの中で、心も体も元気に(生涯)過ごせる弘道

⑥人づくり、コミュニティづくり

・優しい気持ちとお互いを尊重した繋がりで支え合える弘道

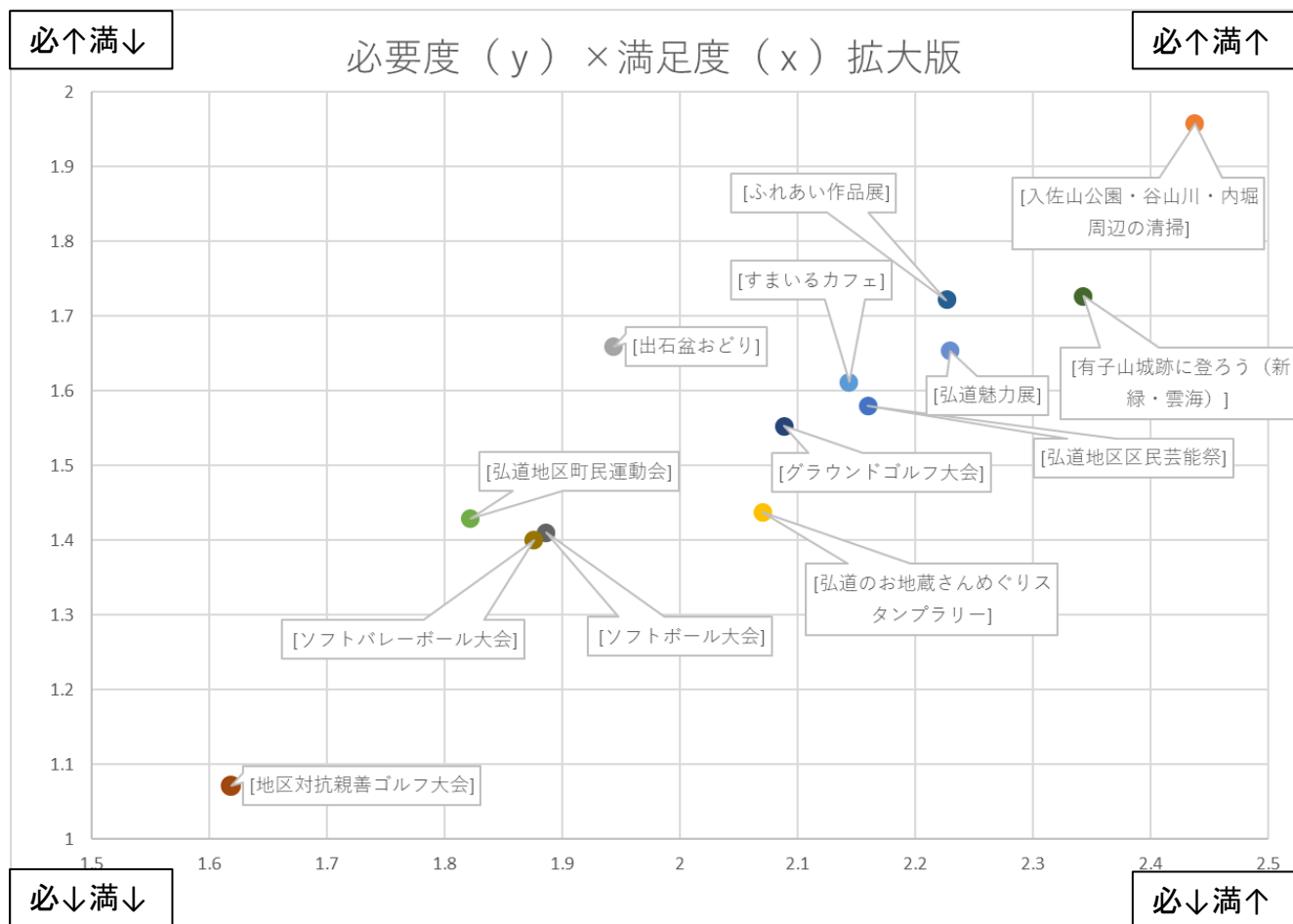
をめざして、日々考え、行動していきます！！

第4章弘道地区の将来像に向けた取り組み

弘道コミュニティ協議会では、立ち上げ当初より、第3章で述べた将来像を実現すべく様々な取り組みを行ってきました。その中で、本計画の改定にあたり、現在行っている取り組みの精査および今後取り組んでいく新たな取り組みの検討を行い、取り組みロードマップとして取りまとめました。なお、取り組みの精査及び新たな取り組みに対してたくさんの意見を参考にするため、住民アンケートを実施し、あまりコミュニティへ来ることのできない方からも意見を出していただけるよう工夫を凝らしました。

1. 現在の取り組みの精査

現在行っている取り組みに対して、必要度・満足度を伺い以下の通りグラフにしました。清掃事業や弘道地区の文化に触れるような事業に関しては必要度・満足度共に高い一方、地区対抗親善ゴルフ大会は必要度・満足度共に低い状態にあることが分かります。また、盆踊りは必要度が高い一方満足度が低く、満足度を上げるための改善が必要であることが分かります。



【満足度Pt=満足3Pt、やや満足2Pt、やや不満1Pt、不満0Pt】【必要度Pt=必要2Pt、あまり必要でない1Pt、必要でない0Pt】として平均値を出したもの。分からない・無回答は含まない。

2. 新たな取り組みアイデア

以下のカテゴリーについてたくさんアイデアが提案されました。

①自然環境

・歩道整備、清掃作業、自然環境を利用したイベント開発 など、、、

②歴史・文化環境

・SNS等を利用した歴史・文化の発信、伝統的な文化を残すための後継者育成 など、、、

③生活環境

・道路環境の整備、空き家・空き地の利活用 など、、、

④生業・地域振興

・「そば」を用いた賑わいづくり、雇用の場の創出 など、、、

⑤教育・福祉環境

・スマイルカフェの充実、高齢者に対する移動支援 など、、、

⑥人づくり、コミュニティづくり

・世代間交流ができるイベント(昔の遊び)、デジタルを用いたコミュニティづくり など、、、

これらを踏まえて次項のとおりカテゴリーごとの取り組みロードマップを作成しました。

3. 各カテゴリーごとのロードマップ

資源:入佐山、谷山川、出石城内堀、ホタルなどがある。美化活動が盛ん

①自然環境

課題:観光客のごみのポイ捨てが多い、谷山川や内堀の水質・水量が良くない

取組内容	すぐやる	3～5年後	5年後以降	いったん置いておく	実施した後の姿
入佐山の観光ルート(遊歩道)、谷山川山系の里山の開発・整備	○				里山や自然を多くの人を楽しんでいる
入佐山公園・谷山川・内堀周辺の清掃子どもたちも含んで清掃作業の実施	○				美化活動が活発になり綺麗な出石町内を観光客・地域住民共に楽しんでいる
谷山川の水の流れの改良について、町民の利用要望のまとめと協力体制を整えられる仕組みを検討	○				谷山川の自然を楽しんでいる人が増えている
内堀の水の浄化のアイデア検討	○				内堀がきれいになるアイデアが出ている
ホタルを活かした祭りの開催		○			自然を生かしたお祭りを地域内外の人が楽しんでいる
整備した遊歩道、里山、川を利用したイベントの計画		○			里山や自然を多くの人を楽しんでいる
中学校、高校で谷山川を守る部活動を作る				○	-
有子山の頂上にバイオトイレを設置する				○	-

②歴史・文化環境

資源:盆踊り・だんじりなど伝統的な祭りや行事、歴史的建物、神社・仏閣、方言が素敵、お地蔵さんがある

課題:歴史・文化の担い手不足、資源があるが生かしきれていない

取組内容	すぐやる	3～5年後	5年後以降	いったん置いておく	実施した後の姿
出石盆踊り(専門職大学の学生に参加してもらい、演奏の後継者の維持も含む)	○				弘道の文化が継承され、地区外の人にも広がっている
SNSやデジタルを用いた文化・マップ等の発信	○				弘道の文化が地区内外の人に知られている
神社マップの作成	○				弘道の資源がマップ上に整理されている
出石のゆるキャラ作り	○				様々な媒体で出石がPRされている
弘道のお地蔵さん巡りスタンプラリー	○				弘道の資源を地区内外の人が楽しんでいる
有子山城跡に登ろう	○				弘道の資源を地区内外の人が楽しんでいる
お城山をパワースポットに(商売の神様)		○			弘道の資源を地区内外の人が楽しんでいる
人気インフルエンサー来てもらう		○			弘道の文化が地区内外の人に知られている
花街道をつくっては?			○		弘道の資源を地区内外の人が楽しんでいる
ゆかりのある歌手に方言の歌を作ってもらおう			○		弘道の魅力が様々な媒体でPRされている
感応殿 仙石権べエのマンガ(宮下)				○	-
古いものを一度整理しすぐわかるようにまとめていく				○	-
だんじりの細かい違いを一覧にして紹介する				○	-
方言辞書 一覧表を作って紹介				○	-

③生活環境

課題：空き家が増えている、町内の商店が減っている、人口が減っている、道路事情が良くない

取組内容	すぐやる	3～5年後	5年後以降	いったん置いておく	実施した後の姿
日常生活に必要な商店の復活 (現在も少しずつ増えてきている)	○				弘道地区内で生活に必要な用事がこなせる
人口増に向けた事業の実施 ・移住者に来てもらう ・地元の子どもたちに故郷の良さを再認識してもらうようPR ・空き家の活用(起業・ウィークリーマンション・専門職大学の学生へ貸し出し・補助金など)の検討	○	○			弘道に住む人、住みたいと思う人が増えている
路面にデコボコをほどこし、スピードを落とさせる				○	-
古民家改修を大工のタマゴに依頼(職人を目指す若人に)				○	-
空き家の利用方法を考えて(古くなって倒壊の危険もあるのに対処してもらえない)				○	-
公営住宅の設置				○	-
地区の合併を考える(近隣の区単位で)				○	-
大きな公園作ってほしい 大人も休める日陰ができる所も				○	-

④生業・地域振興

資源:そばがある

課題:仕事の場所がない、食事ができるところが少ない

取組内容	すぐやる	3～5年後	5年後以降	いったん置いておく	実施した後の姿
出石の住民は割引でそばが食べられるように補助券を出す	○				弘道地区の住民自身が地域の良さをきちんと分かっている
そば粉を使ったスイーツコンテスト	○				弘道地区の住民自身が地域の良さをきちんと分かっている
プロジェクションマッピングを取り入れる→若者集客		○			弘道の魅力が様々な媒体でPRされている
おばあちゃん食堂 収穫した野菜の残りを使って作る		○			弘道地区の住民自身が地域の良さをきちんと分かっている
雇用の場を多くつくる		○			地元で働く若い人が増えている
仕事場がないと人は定置しない。もっと男女平等の社会を進める。		○			地元で働く若い人が増えている
×そばを出す店を作る				○	-
そば屋の番付表を作る				○	-
銭湯を作り割り箸を燃やす(ムダを出さない)箸に限らず				○	-
PRにもっとお金をかけて				○	-
商店街を便利に安価に利用できる駐車場のスペースを確保する				○	-
旅行業者とのパイプを太く				○	-

⑤教育・福祉環境

資源:隣近所の付き合いが厚い

課題:移動に困っている人がいる、独居老人が増えている、子供が安心して遊べる場所が少ない

取組内容	すぐやる	3～5年後	5年後以降	いったん置いておく	実施した後の姿
すまいるカフェ	○				隣近所の付き合いが継続的に行われている
厚い近所付き合いを利用して、高齢者へ積極的に声をかけていく	○				隣近所の付き合いが継続的に行われている
・バスが少ないので共有タクシーみたいなものを考える(狭い村中・街中を走れるワゴン単位の大きさなど) ・介護タクシーなどの定額制料金 ・免許返納者への送迎サービスをするボランティア活動。利用券など発行		○			誰もが自由に移動できている
出石独自の子育て支援		○			子育て世代が弘道を選びたくなる支援体制が整っている
高齢者へのサポート体制→区の青壮年による御用聞き		○			高齢者に対してのサポート体制が整っている
電動アシスト自転車の購入補助金				○	-
大きな公園を一つぐらいは作ってほしい				○	-
役場の外庭の公園に、もう少し大きい遊具を作ってほしい。				○	-
高齢化は仕方がないので高齢者ががんばる				○	-

⑥人づくり、コミュニティづくり

資源: ボランティア精神に富む人が多い

課題: 男社会、様々な人とつながる機会が少ない

取組内容	すぐやる	3～5年後	5年後以降	いったん置いておく	実施した後の姿
弘道魅力展	○				弘道地区の住民の魅力が地区内外に伝わっている
専門職大学の学生や子どもの意見を聞く コミュニティ活動に対する意見箱の設置	○				意見を参考にした事業・イベントが開催されている
お寺などを借りながら遊具が無くてもよい、昔の遊びを広める(世代間交流ができる)	○				世代を超えて交流が生まれている
世代を超えたスポーツ事業	○				世代を超えて交流が生まれている
弘道地区区民芸能祭	○				弘道地区の住民の魅力が地区内外に伝わっている
ふれあい作品展	○				弘道地区の住民の魅力が地区内外に伝わっている
グラウンドゴルフ大会	○				弘道地区の住民同士の交流が盛んになっている
ソフトボール大会	○				弘道地区の住民同士の交流が盛んになっている
ソフトバレーボール大会	○				弘道地区の住民同士の交流が盛んになっている
弘道地区町民運動会		○			弘道地区の住民同士の交流が盛んになっている
バーチャルな空間を作る		○			様々な媒体を用いて弘道に興味を持つ人が増えている
結婚したい若者を増やす		○			結婚したいと思う若者が増えている
ボランティアに興味のある人と地域の課題をマッチングする組織を作る		○			地域活動が苦にならず行われている
グラウンドゴルフ場をたくさん作る			○		弘道地区の住民同士の交流が盛んになっている
地区の役を女性にもやってもらえるようにする、少しづつ			○		地域活動が苦にならず行われている
小学校と一緒に運動会をする				○	-
子どもを集める施設(企業。団体などを誘致) 林間学校等				○	-
道徳教育、人権教育の充実を図る				○	-
地区対抗親善ゴルフ大会				○	-

第5章今後の課題

前章にて、既存事業も含め今後行っていくことを整理しました。すぐにとりかかる(検討する)予定の事業に関しては、実行のイメージがつきやすい一方、3年後以降については実行体制も含めたさらなる検討が必要になる事業もあります。引き続き定期的な活動の見直し・計画の見直しを行いながら無理なくコミュニティ活動を実施していきます。

また、今後は弘道地区にご興味のある様々な関係人口の方ともつながり、地区内にとどまらず様々な活動が行えるよう事業検討・実施していきます。